

令和8年度 第3回松本市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 会議録

日 時	令和8年2月13日（金） 午後1時30分から午後3時まで
会 場	松本市役所 本庁舎3階 議員協議会室
出席者	委員10名（欠席者2名）
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 会議事項</p> <p>(1) 協議事項（1件） 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の振り返りについて</p> <p>(2) 報告事項（5件）</p> <p>ア 高齢者等実態調査の実施報告について</p> <p>イ 松本市認知症施策推進計画（案）について</p> <p>ウ 松塩筑木曾老人福祉施設組合が運営する特別養護老人ホームの施設再編について</p> <p>エ 保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金（インセンティブ交付金）について</p> <p>オ 地域密着型サービス事業者等の指定について</p> <p>3 閉会</p>
開 会	<p>1 開会</p> <p>高齢福祉課長があいさつをした。</p> <p>推薦団体の役員変更について、名簿「No.10 民生委員・児童委員協議会」推薦委員が 朝倉康直 氏に変更となった旨を報告。</p>
会議事項	<p>2 会議事項</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>ア 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の振り返りについて、事務局から資料に基づき説明があった。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>《委員》</p> <p>身寄りがない／医療依存度が高い／家族がいても支援に結びつきにくい等といった方の実態はどの程度あるか。</p> <p>《事務局》</p> <p>身寄りのない方の増加、身元保証が課題認識。戸籍調査等で確認しつつ、成年後見制度の活用により施設利用につなげる取組を実施。終活情報登録事業など「元気なうちから備える」取組も進めている。件数の定量報告は即答困難だが、相談は増えている。</p>

《委員長》

「検討する体制を構築」など、改善方策の記載は表現として抽象的になり得るため、今後の改善方針に具体性を持たせる余地がある旨を指摘。

また、「相談体制の強化・充実」の施策における、複合課題相談への対応は課題として顕在化しており、現時点の評価を無理に上げずB評価とし、課題共有しながら引き続き取り組むべき旨をコメント。

《委員》

後期高齢者健診等でフレイル拾い出しの動きはあるが、まず対象者の拾い出し体制を固め、その上で総合事業につなぐ課題を改善方策に明確化すべき。

また、在宅医療・介護連携について、周知だけでは利用に結びつきにくい。医療・介護側へも情報発信を伴う、一歩踏み込んだ整理が望ましい旨を意見。

《委員》

ケアマネージャーの業務において、支援対象者の複合課題が増え、つなぎ役の業務が増大している。制度の隙間をどう埋めるか、どこが相談先で、どこが担ってくれるのかが現場課題。

《委員》

介護テクノロジーは「人材不足の穴埋め」だけでなく、生産性向上と介護の質向上の観点でも位置づけてほしい。松本市の取組は先進的との評価もある。

《事務局》

今年度、養成校（松本短期大学・エクセラン高校等）で学生向けに介護ICT授業（記録ソフトの操作体験等）を実施。興味関心が高く、継続・拡大を検討。質の確保も同時に進めたい。

《委員長》

人材については取組みは多々行っているが成果はまだ、という点ではB評価でもいいのでは。

《委員》

フレイル予防の課題に記載の総合事業メニューの「民間事業者協力」について、「他職種・民間事業者への協力依頼」とは具体的に何を想定しているか。

《事務局》

介護保険サービスに限定せず、運動（スポーツジム等）、栄養、専門職団体、企業の福利厚生等、地域資源を活用し、弱った状態から元気に戻るためのメニューを検討していく趣旨。

《委員長》

現在の松本市の介護保険の財政状況について端的にコメントを。

《事務局》

第9期の給付費は計画比で概ね95%程度。準備基金（約13.5億円）を投入し基準額を引下げたが、想定以上の人材不足により定員抑制・利用控え等が生じ、給付が伸びない傾向もある。結果として基金が積み上がる可能性があり、第10期で保険料を再検討する必要がある。サービス提供体制面の課題は大きい。

《委員長》

本件は「第9期振り返り（途中段階）」として、第10期策定議論と並行しつつ、継続審議として位置づけ、現時点での採決は行わないことを確認した。

(3) 報告事項

ア 高齢者等実態調査の実施報告について、事務局から資料に基づき説明があった。

【質疑応答】なし

イ 松本市認知症施策推進計画（案）について、事務局から資料に基づき説明があった。

【質疑応答】なし

ウ 松塩筑木曾老人福祉施設組合が運営する特別養護老人ホームの施設再編について、事務局から資料に基づき説明があった。

【質疑応答】なし

エ 保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金（インセンティブ交付金）について、事務局から資料に基づき説明があった。

	<p>【質疑応答】なし</p> <p>オ 地域密着型サービス事業者等の指定について</p> <p>【質疑応答】なし</p>
閉会	<p>3 閉会</p> <p>≪事務局≫</p> <p>以上をもって、第3回松本市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会を終了します。ありがとうございました。</p>